

「人の操作なしに探索や攻撃判断を行える自律型人工知能（A I）を備えた兵器開発を禁止せよ」、などと訴える文書が研究者ら1万2000人余の署名を集めてA Iの国際会議で公表された。天体物理学者のホーキング博士やアップル共同創設者のウォズニアク氏、言語学者のノーム・チョムスキー氏などそうそうたる著名人が名を連ねる同文書が、A I兵器が戦争における火薬、核兵器に次ぐ「第3の革命」をもたらすと警告しているのを見て、今から約50年前の手塚治虫の漫画、鉄腕アトムに登場した「ロボット爆弾」に酷似しているのが驚いた。

自分で勝手に敵に近づいたところで自爆するというロボット爆弾は、危険極まりない兵器なので“国連が禁止した”という代物である。「ロボットは人間に危害を与えてはならない」というルールをS F作家のアイザック・アシモフは自身の作品の中で登場させたが、彼から影響を受けたと思われる手塚も同漫画において“ロボット法”を描いている。もしA Iが自爆テロで使われたら？ もし生物兵器が搭載されたら？ 鉄腕アトムから約50年、全く不吉な話だ。ユダヤ人であるアシモフは、「現在の最も悲しい光景は、社会が知恵を積み上げるよりも早く科学が知識を積み上げていることだ」と言ったが、

聖書は、今から約3000年前に書かれた「知恵の書」で知られる箴言の冒頭において、

「これは、知恵と訓戒とを学び、悟りの言葉を理解するためであり、正義と公義と公正と、思慮ある訓戒を体得するためであり、わきまのない者に分別を与え、若い者に知識と思慮を得させるためである。知恵のある者はこれを聞いて理解を深め、悟りのある者は指導を得る。」

同書 1章 2-5節、

と知恵について明示している。ここで言う知恵とは神であるキリストを指し、言い換えれば人間を創造した神抜きでは悟りも理解もわきまも得られないことを示す。言うまでもなく科学や知識を有益なものとするのが知恵であり、知識だけを積み上げると先々何が起こるか分からない危険なものになりかねない。神を恐れず自分を知者と自認し突き進む人類が、今こそ十字架で人類の罪を背負ったキリストを仰ぎ、彼のくださる聖霊によって真の知識を体得し、それがもたらす心の平安によって、不安でアテにならない時代が喜びの満ちる明瞭なものへと変えられること望んで止まない。

2015-9-11

光文社のカッパ・コミクス

発行所 光文社 編集 藤野 洋子 印刷 光文社印刷部

鉄腕アトム

ロボット爆弾の巻 ガンガラ島の巻 気体人間の巻

